

PTAだより 最終号

芦屋市立潮見小学校 令和8年3月

今年度は新しい取り組みや催しを実施してきましたが、とても充実した1年間でした。保護者の皆さまにも、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。また、6年生の保護者の皆さまは、ご卒業おめでとうございます。お子さまが中学校でも伸び伸びと活躍していくことを願っています。

「今年度のPTAは楽しそうにやっているのがいいですね」ある保護者さんの言葉で私が一番嬉しかった言葉です。今年度は役員の仕事を【やらされるのではなく、子どもたちのために自分たちがやってみたいことを先生方とたくさん話し合いながら実行していくこと】を目標にやってきた私にとって、この言葉は私が目指した思いが一人でも届いてよかったと感じた瞬間でした。新しく始めたサポーター制や座談会、デジタルデバイス講座やなわとび特別授業などを実施してきましたが、特にサポーターの方にはたくさんご協力をいただいたおかげで、全ての活動を実施することができ、また保護者の皆さまからも今まで以上にお声を頂きました。また年末の大掃除では、児童のおじいさま、おばあさまや、民生委員の地域の方にも参加頂き、「子どもたちと掃除が出来てとても楽しかった」と喜んで頂きました。これをスタートに、児童と保護者と地域がもっとつながる“地域とともにある学校”にしていきたいです。そして、毎回気づいたら「もう昼過ぎてる！」と言いながら、執行部会議で子どもたちのためにたくさん考え話し合い、動いてくれた執行部のメンバー、校長、教頭先生にも、感謝の気持ちでいっぱいです。今年度活動に携わって頂いた皆様、本当にありがとうございました。

今年度の活動を通して感じたことは、PTA組織(全国PTA協議会)に属さなくても、子どもたちを支える活動は出来るのではないかとことです。むしろ潮見小サポーター活動としての方が、役職の肩書を気にせず、目の前にいる子どもたちに直接関われる活動になるのではないかと考えています。そこでPTAではなく、学校運営協議会(※)を主体とした潮見小単体としての保護者・地域の会にしていくのはどうでしょうか。来年度はこれをテーマにPTAの在り方について考えていきます。「どういうこと?」「何を言っているか分からない」という方は、交流会等を設けますので、ぜひお声を聞かせてください。また来年度に向け土曜参観での外部講師の講座など、企画も進行中です。潮見小の子どもたちが安心して成長していけるために保護者としてどうかかわっていくか、みなさんで考えてみませんか。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

会長 辻

※学校運営協議会コミュニティ・スクール＝学校と保護者や地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映することで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支える“地域とともにある学校づくり”を進めるための仕組みです。PTAだより第3号にも掲載しています。潮見小HP(PTA)でご確認いただけます。

学校長挨拶

本年度も残りわずかとなりました。保護者の皆様には、日頃より本校教育への温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度は、子どもたちの学びや教育活動を多面的に支えていただく「サポーター制」がスタートしました。1年生の給食準備、校外学習での付き添い、大掃除でのお手伝いなど、学校のさまざまな場面において力をお貸しいただきました。子どもたちに寄り添う皆様のまなざしは、学校にとって大きな支えであり、温かな学びの環境づくりに直結したと強く感じています。

また、PTA役員の皆様ご自身が「学ぶ大人」として新しい一歩を踏み出された年でもありました。サポーター制のモデルとなる学校への訪問、県教育委員会の研修会への参加など、管理職とともに学び合う機会を持っていただいたことは、これまでのPTAの枠を越えた大きな挑戦でした。授業を見る「授業参観」から、子どもたちの学びに寄り添う「学習参加」へと考え方を転換していきたいという私の想いに賛同してくださったPTA役員の皆様のお力なくして、この挑戦は実現しなかったと思います。改めて深く感謝申し上げます。

先日の研修会で、「サプリメントとリンゴの丸かじり」という印象的なお話がありました。効率よく効果が得られるサプリメントに対し、リンゴの丸かじりは多様な栄養が含まれ、まだ発見されていない良さも秘めている。これをたとえて、教室での学習は“サプリメント”、地域での学びは“リンゴの丸かじり”である。断片的な知識ではなく、五感で感じる「丸ごとの体験」こそが、子どもの心に深く作用する、という厳しくも示唆に富んだ指摘がありました。だからこそ、地域に学びを広げ、子どもたちが多様な大人と出会う機会を設定することが重要である——その中心に、保護者や地域の皆様の存在があるのだと感じています。

来年度すぐに実践とはいかないかもしれませんが、少しずつ地域を題材にした学びをしていけるよう校内でも話をしているところです。そうした中、潮見小学校では、教職員だけでなく、保護者・地域の皆様とともに未来の教育を語り合う場（座談会や学校運営協議会）が少しずつ育ち始めています。子どもだけでなく、大人も学び続ける姿を子どもたちに示していくことこそ、教育の力をさらに高める礎になると信じています。

一年間、本校PTAの皆様には多大なるご支援を賜りました。心より御礼申し上げます。来年度も、温かなご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



【サポーター活動の振り返り】

今年度から初の試みとなった保護者・地域の皆さんによる潮小サポーター活動。呼びかけに応じて登録いただいた保護者サポーターさんの人数はなんと60名弱！潮小の約1割のご家庭の方に手を挙げていただけたことになり、期待以上のうれしさでした。

1年生の初めての給食で配膳をお手伝いしながら担任の先生のめまぐるしさに驚いたり、校外学習と一緒に出かけ子どもたちを見守る先生たちの気遣いに感謝したり、私たち保護者も知らなかった先生方の大変さは想像を超えるものでした。また、地域サポーターの皆さんと実施した年末大掃除では、1, 2年生の教室やお手洗いを子どもたちと一緒に清掃しました。短い時間ではなかなか隅々まできれいにすることは難しかったのですが、もうちょっと！あとちょっと！とサポーターの皆さんが最後まで排水溝などをきれいにしてくださったおかげですっきり気持ちよく二学期を締めくくることができました。地域サポーターの皆さんと子どもたちの、照れながらも交流する姿も印象的で、子どもを支える手は何も親だけでなくてもよいのだと思った光景でした。

今年度はまずはお試しと始めた活動だったこともあり、先生の希望があっても学校との調整がつかなかったり、なかなか段取りが決まらず募集がギリギリになることもあり、反省をふくめた座談会では「もっと早くに連絡をもらえたら参加したかった」「いきたかったが休みが取れなかった」等のありがたいお声も頂戴しました。来年度はサポーターLINEもリニューアルし、よりフレキシブルに、役立つだけでなく楽しく活動できるようどんどん試行錯誤していきたいと思えます。今年度登録いただいた皆さんはぜひ引き続き、そしてお子さんとともに潮小を卒業される皆さんは地域サポーターとして、もしくは今年度はできなかったけど次年度はやってみようかなと思っていただけた皆さんも大歓迎♪できるときにできるぶんだけ、潮見っこの学校生活を応援していただけたらうれしく思います。来年度もよろしく願いいたします。

【自分のリクエストした本を読むことが出来たかな】

PTA費から潮見小図書室の本を寄贈しました。この本は6年生保護者の卒業委員の方が“子どもたちが読みたい本”のアンケートを実施してくださり、6年生が選書してくれました。卒業間際の納入となりましたが、まずは6年生が読めるように教室の前に本の特別ワゴンが設置されています。

リクエストの中には、普段図書室では見かけない難しい本もあったそうで、子どもたち自身が読みたい本を手にとって読んでもらえたら嬉しいです。6年生が卒業されたら、ワゴンの本は図書室へ移され在校生も読むことができます。



【広報誌の表彰式に行ってきました！】



役員を始めてから、私の知らないところで我が子が多くのボランティアの方々に支えられているんだということを知り、その感動をこの度広報誌で発信しました。本当に楽しく、勉強になった1年でした。

広報・林

一年を終えて

今年度は役員を通して、子どもたちにとってより良い学校生活・環境について考える機会をたくさん持つことができました。これからも、先生・保護者・地域の方・周りの大人たち皆で協力しながら、子どもたちを見守っていかれたらと思います。

書記・三上

一年を振り返り、他の役員の方と活動できたことが良かったと感じています。活動を通して先生、他の保護者の方のお話や考えをきかせていただけたのはとても有意義なことでした。来年度も引き続き子どもたちが安心して楽しく過ごせる学校づくりに関わっていければと思っています。

会計・谷脇

1年間、研修事業部の活動にもご協力いただき、ありがとうございました。みなさんのご協力のおかげで、ベルマークも集まり、収集作業もできましたこと、あらためて、感謝申し上げます。今年度は、今までの残ポイントに今年集まったポイントも足して、新1年生の教室へ、先生からの希望品“黒板の踏み台”を2台購入させていただきました。ちりつもですが、大きな物が買える。そして、それが子供たちに還元できる喜びをいただき、ありがとうございました。

研修事業部・頼本

今年度は執行部の思いと校長・教頭先生の思いが一致し、まさに、時代や学校の現状に合わせた一歩を踏み出すことができました。執行部のメンバーは全員日々忙しくしていますが、それぞれが時間をみつけ、できることを精いっぱいやり遂げました。忙しくても思いがあればできるのだとよい例になったと思います。潮見小学校にお子さんを通わせている保護者のみなさんはぜひ、関心の度合いを上げて、前向きに、活動に目を向けて、ご協力を少しずつでもいただけたらありがたいです。

副会長 佐藤

【お願い】

バスの運行や近隣住民の通行に大変なご迷惑が掛かっています。登下校時、学校周辺の道路上には駐停車しないでください。